

決議(案)

山陰近畿自動車道は、京都縦貫自動車道、北近畿豊岡自動車道、鳥取自動車道、山陰自動車道と連結し、日本海国土軸を形成する道路であり、令和四年四月には、山陰近畿自動車道全線が貨物積載車両の効率的な運行が確保できる重要物流道路に指定されており、地方創生及び国土強靱化の実現に欠かせない重要な幹線道路である。

丹後地域においては、京都縦貫自動車道の全線開通、山陰近畿自動車道の延伸により、観光客の増加や新たな企業進出など高速道路の整備による多大なストック効果が表れている。

こうした効果を更に高め、当地域の経済・産業の活性化のためには、ミッシングリンクである山陰近畿自動車道の早期全線整備が不可欠である。にもかかわらず、現状、早期全線整備の期的な目途が示されておらず、まちづくりの長期展望を十分に得ていく上でも隘路となっている。

また、新型コロナウイルスの感染拡大により東京一極集中の是正が求められており、ポストコロナを念頭に交流・関係人口の拡大による地方への人・モノ・仕事の流れを作る地方創生を加速前進させていく必要性が高まっているため、次の事項を強く要望する。

なお、早期全線開通の要望と併せて、今後の交通量の推移を踏まえた山陰近畿自動車道の四車線化、大宮地域から網野方面への出入口の新設についても強くお願いする。

一、山陰近畿自動車道の

- ・ ミッシングリンクとなっている大宮峰山インターチェンジから府県境までの全線を令和十年代に完成するよう具体的な整備の年次計画を立てて全線整備の期的な目途を明らかにするとともに、その早期全線整備を図ること
- ・ 大宮峰山インターチェンジから網野インターチェンジまでを令和五年度には事業化すること
- ・ 府県境までの区間について、ルート決定に必要な予算措置を行うとともに、地元希望ルート帯に配慮し、早期にルート決定を行うこと
- ・ 大宮峰山道路及びアクセス道路の事業を早期かつ着実に推進するため、必要な予算措置を行うこと

- 一、高規格道路網のミッシングリンクの早期解消を図るため、また、そのサービス水準を持続できるよう、地域の意見も踏まえ、管理費等の利用者負担も排除せず安定的な財源確保を図ること

- 一、「防災・減災、国土強靱化のための五か年加速化対策」に必要な予算・財源を例年以上の規模で確保し計画的に事業を推進するとともに、五か年加速化対策後も予算・財源を通常予算とは別枠で確保し継続的に取り組むこと

- 一、直轄権限代行や頻発する大規模自然災害等に対応するための地方整備局等の体制の充実・強化をすること

以上、決議する。

令和四年十月十六日

丹後・地域高規格道路推進協議会